

「天若湖アートプロジェクト2012」が開催されました

8月4日（土）・5日（日）、天若湖（日吉ダム湖）にて「天若湖アートプロジェクト2012～あかりがつなぐ記憶～」（天若湖アートプロジェクト実行委員会主催）が開催されました。

このイベントは、日吉ダムの建設によりダムの湖底に沈んだ、5つの集落の家々（122戸）のあかりを湖面にLEDライトを浮かべて再現するもので、今回で8回目の開催となりました。

夏本番の猛暑の中、実行委員会の学生や教授と、日吉ダム管理所の職員が連携し、「あかり」の設置作業を行いました。

両日とも、無料観覧バスや京都駅からのツアーバスが運行され、参加者は、大小の鮎ねぶた等の「足下あかり」が設置された歩道を通り、幻想的な雰囲気の中、ダム湖を望む世木林会場へと向かいました。

日が暮れるにつれ、湖面にあかりが浮かび上がると、参加者は、ダムと漆黒の湖面に灯るあかりが織り成す風景を前に、かつての集落やそこでの暮らしへと想いを馳せていました。



漆黒の天若湖に浮かぶ集落のあかり（右岸市道から）



足下あかりの設置された歩道から世木林会場へ